

留学レポート

◆ FRANCE ◆

中川智遥



INTRODUCTION

PRÉSENTATION

Nakagawa Chiharu
中川智遥

- 留学先：France Landes 🇫🇷
- ホストスクール名：Lycée Sud des Landes
- 日本の高校：日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 留学期間：10ヶ月



BEST MEMORIES

MILLEURS SOUVENIRS

Avec mes amis With my friends

- 旅行

Avec ma famille With my family

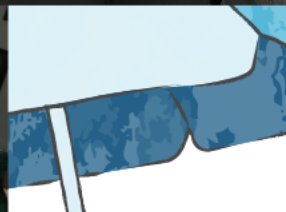
- フランス語の勉強
- カードゲーム





友達との旅行

初めてのフランスでの旅行は友達の誕生日パーティで彼女のお父さん家に行った思い出です。一緒にカードゲームをしたり、砂浜に行ったり、映画を見たり、ピザを作ったりして過ごしました。まだ出会って数週間だった私を招待してくれて本当に嬉しかったことを覚えています。この時はちょうどホストファミリー替えとかもあったり、まだフランスでの生活に慣れてなかったり、フランス語もままならなかったのですが、沢山悩みを聞いてくれたり、遊んでくれたり、彼女達自身のことを教えてくれたりととても大切な時間を過ごす方ができました。また招待してくれた友達と一緒に招待された友達とはクラスが別で同じ授業もほとんど取っていませんでしたが、本当に優しく、いつも明るい子たちで常に気にかけてくれましたし、色んな所に誘ってくれました。私が帰国する前にはスペインとの国境近くのペアバスクに旅行に行ったり、お別れ会をビーチで開いてくれて、私のためにアルバムなど用意してくれました。本当に仲の良い友達、ベストフレンドになることができました。



ホストファミリーとの思い出



ご飯前の写真

フランス語の勉強

私は今回の留学にほぼゼロと言っていいほどフランス語が話せないで渡仏しました。最初のホストファミリーでは私がまだフランスに行く前からビデオ電話をしたりチャットしたりしてフランス語の練習をさせてくれていました。

また2つ目のホストファミリーではおばあちゃんが絵本を持ってきて読み聞かせをしてくれたり、私が声に出して読んで違ってたら直したり意味がわからなかったらわかるまで教えてくれていました。

またファザーには発音を徹底的に基礎（「私は」の意味を表すjeやrの発音）から直してくれました。彼は日本語がわかるので、日本語との発音の違いなども分かりやすく教えてくれました。またホストシスターは日本人とのハーフなので学校が終わったあと2人でCDEに行ってフランス語の問題を解いて私に日本語とフランス語両方で解説してくれたり、テスト前は文法の確認を一緒にやってくれていました。また一緒に映画を見に行って私がわからなくなると横で解説してくれていました。

両家族ともフランス語だけでなく、家族と離れて暮らし、フランスでの生活に右も左もわからない私を精神的な面からずっと支えてくれていました。本当に感謝しかないです。



レストランでのご飯の写真

ビーチで散歩した時の写真





カードゲーム

フランス人の生活はとにかく家族を大事にしていました。特に2つ目のホストファミリーの家で思い出に残っているのはカードゲームです。時間があったらカードを持ち出して「チハルゲームやるよ」と言って頻繁にカードゲームをしていました。この思い出は旅行などと比べて日常的な小さな出来事ですが、私にとってはホストファミリーとすごく距離を縮めることができた大事な時間でした。カードゲーム以外にもボードゲームをしたりとにかく家族で過ごす時間を大事にしていました。また、私が帰国する前日にも仲の良い友達2人とファザーの友達が集まってくれて、お別れ会ならぬゲーム大会になりました。また私が帰国する時にはプレゼントとしてフランス版のトランプとよく一緒に遊んだカードをプレゼントしてくれました。



WHAT I LEARNED

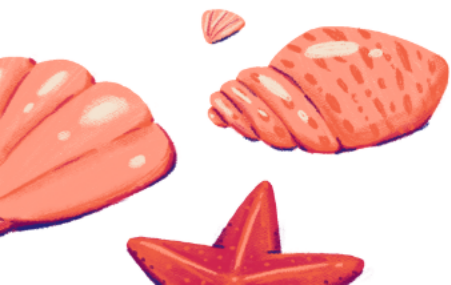
CE QUE J'APPRIIS

- フランスと日本の違い
 - 時間の使い方・過ごし方
 - 学校生活
- 言語・コミュニケーション
- 第二の故郷
- 感謝



フランスと日本の違い

大変だったことは生活に慣れるまでのことです。はじめにコミュニケーションでは、渡仏した始めの頃はフランス語で言うことができるのはありがとう「merci」とこんにちは「Bonjour」程度でした。最初はたくさん翻訳機を使っ
たし、英語も使いました。私は一度ホストチェンジをしましたが、いくつか原因はありますが1つとしてコミュニケーションのすれ違いが起きていたからだ
と思います。帰国時にもう一度最初のホストファミリーに会ったとき、私は語
彙がまだ不十分でしたが、それでも日常会話はできる位のレベルにはなってい
たので、コミュニケーションがスムーズになっていたし、相手の表情などから
も何を伝えているのかが分かるようになってきました。帰国後、言語に興味が
でて、沢山の言語を習得している方の本を読んだとき、『相手がわかる言葉で
話せば相手の頭に届く、相手の母国語で話せば相手の心に届く』という言葉
を読みました。自分の実体験からも本当にその通りだと感じました。帰国して
から外国の方と話す時、フランス語を使うことができると会話の幅が広がりま
した。フランス語を忘れないように、また基本的な英語、また新たな言語を今後
も学び続けます。



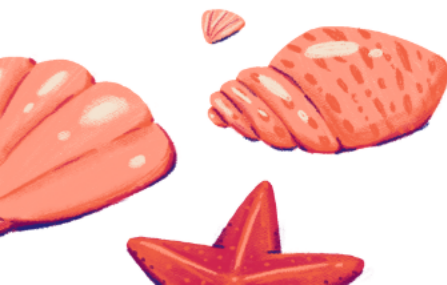


日常生活では日本人の生活リズムとフランス人の生活リズムが違い、そこも慣れるのに時間がかかった点です。特に私は日本では都会、フランスでは田舎町だったので、ものすごく忙しい生活から、ゆったりとした生活になりました。日本では学校でも与えられたタスクをこなすような日々でしたが、フランスでは時間の使い方も違い友達や家族と大切にしている生活になりました。ホストファミリーの友達や家族と過ごす時間は、私の中で新しい出会いがあり楽しみな反面、自分の家族や友達が恋しくなりホームシック時はかなりきつかったです。



ですが、離れたからこそ、家族への感謝を改めて感じることができました。また学校生活では日本と比べて土曜日や水曜日の午後が休みだったり、他の日でも休み時間が長かったりしていましたが、早く起きて学校に行き、帰りは遅くなるが多かったのも慣れるまでが大変で、体調を崩すこともありました。

慣れるまですごく時間がかかり大変なことも多かったですが、その分沢山支えてくださった方に感謝しかなく、またそこから多くのことを学ぶことができました。今ではフランスは私の中で第二故郷であり、初めのホストファミリーも次のホストファミリーも私を家族のように思ってくれているし、私も彼らがフランスの家族のようになりました。また、フランスに行って帰れる場所があるのは本当に有難いし、嬉しいです。



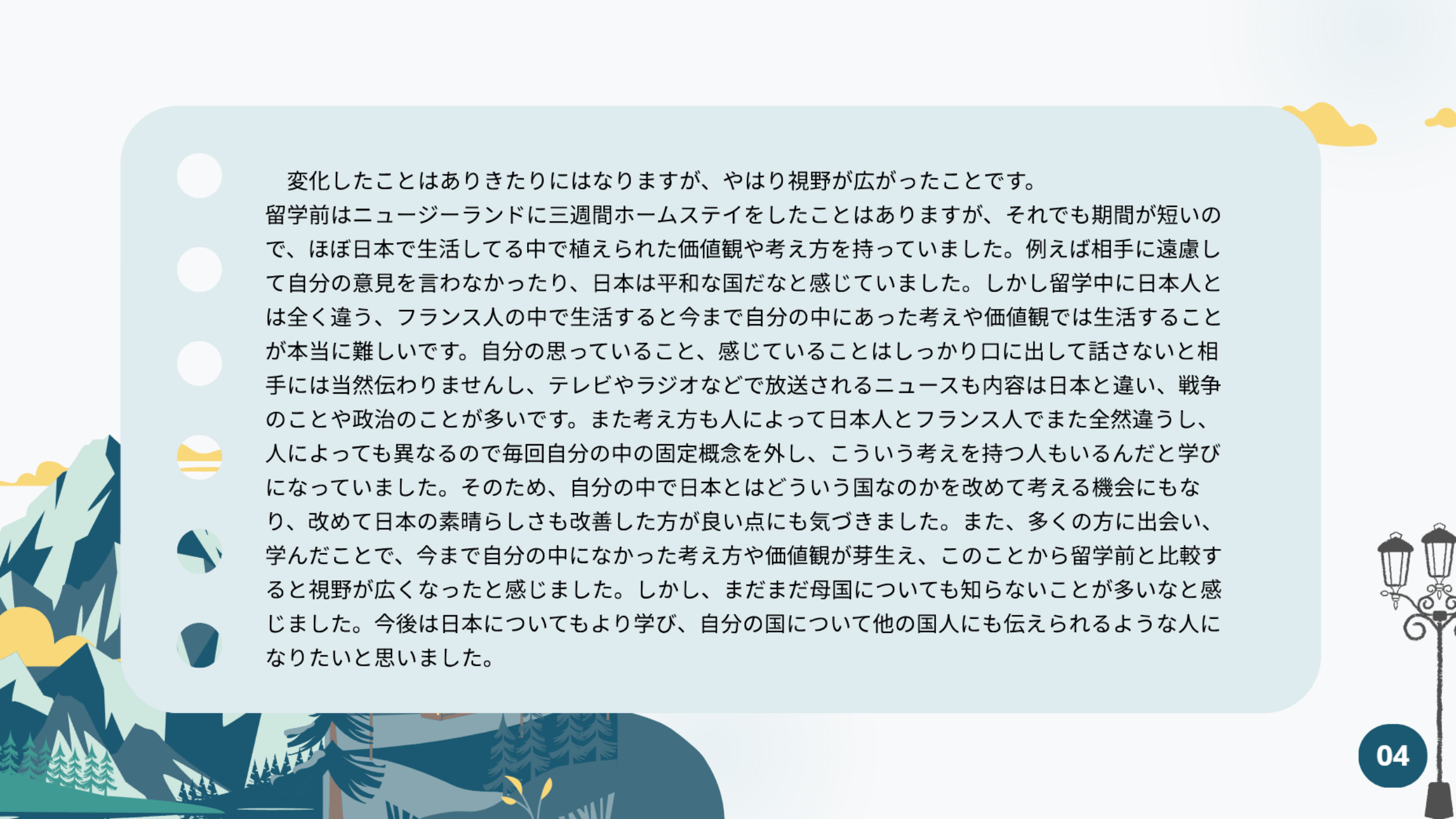
留学前と後の自分の変化

CHANGEMENT DE MOI

留学前と
留学終了間近の写真



• 視野の広さ



変化したことはありきたりにはなりますが、やはり視野が広がったことです。

留学前はニュージーランドに三週間ホームステイをしたことはありますが、それでも期間が短いので、ほぼ日本で生活してる中で植えられた価値観や考え方を持っていました。例えば相手に遠慮して自分の意見を言わなかったり、日本は平和な国だなと感じていました。しかし留学中に日本人とは全く違う、フランス人の中で生活すると今まで自分の中にあった考えや価値観では生活することが本当に難しいです。自分の思っていること、感じていることはしっかり口に出して話さないと相手には当然伝わりませんし、テレビやラジオなどで放送されるニュースも内容は日本と違い、戦争のことや政治のことが多いです。また考え方も人によって日本人とフランス人でまた全然違うし、人によっても異なるので毎回自分の中の固定概念を外し、こういう考えを持つ人もいるんだと学びになっていました。そのため、自分の中で日本とはどういう国なのかを改めて考える機会にもなり、改めて日本の素晴らしさも改善した方が良い点にも気づきました。また、多くの方に出会い、学んだことで、今まで自分の中になかった考え方や価値観が芽生え、このことから留学前と比較すると視野が広がったと感じました。しかし、まだまだ母国についても知らないことが多いなと感じました。今後は日本についてもより学び、自分の国について他の国人にも伝えられるような人になりたいと思いました。

À L'AVENIR

まずはじめにやりたいことが、自分の高校でこの留学で経験したことをシェアし、後輩たちにこんな道もあるんだよと伝えることです。私の学校は留学に行く人は一年に数名、そのほとんどが英語圏に留学しています。まずは留学という道が高校生の時にもあること、そして公用語が非英語圏の国にも留学できることなど選択肢の幅を広げるきっかけになりたいです。

二つ目に、将来的に色々な国籍を持った人と交流できるコミュニティを作りたいと考えています。帰国後、フランスの友達から私以外の日本人とも話してみたいという連絡きて、私の日本の友達で国際交流に興味がある子を数名紹介したことがあります。また私自身、帰国してから外国の方と接する機会が増えました。そのため、そういったコミュニティを作り、日本のことも知ってもらいつつ、他の国ことも知れる機会を作りたいと思っています。

最後に、また違う国にも訪れたいと思います。高校生の時に10ヶ月と短くもない期間、日本以外の場所で生活できたことは私にとってはこれからの国際社会で生きていく自信や勇気につながりました。ここからまた他の文化にも触れる機会を増やしていきたいと考えています。またこれらを発信し、大規模ですが、争いがない世界を作りたいと思います。



THANK YOU

◆ MERCI! ◆

最後に家族をはじめとして、WYSの皆様、先生方、PIE、カウンセラー、
ホストファミリー、友達、支えてくださった全ての方に感謝しております。
本当にありがとうございました。

